

# 家庭ごみ有料化の実施を進めます



## ごみ減量・リサイクルを促進

有料化の目的は、ごみの減量やリサイクルを一層進めることです。ごみの量に応じて手数料を負担する仕組みをつくることで、意識が高まり、さらなるごみの減量が期待できます。

また、ごみ減量に取り組んでいる人とそうではない人の公平性が図られるほか、新たに行うごみ減量施策の財源も確保されます。

## 「ごみ」の発生抑制と「資源」への誘導

「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」の廃棄ごみと、「びん・缶・ペットボトル」「容器包装プラスチック」などの資源物との間に料金格差を設けることで、分別の意識を高め、廃棄ごみを減らしていきます。



## 手数料の納入方法

手数料は、指定のごみ袋を購入することで納めます。大きさの違う数種類のごみ袋の中から、ごみの量に応じた袋を選ぶことができますようにします。

## 手数料の軽減

新生児や高齢の方などが使用する紙おむつ、道路や公園など公共の場所の清掃で出るごみについては、手数料の軽減を検討します。

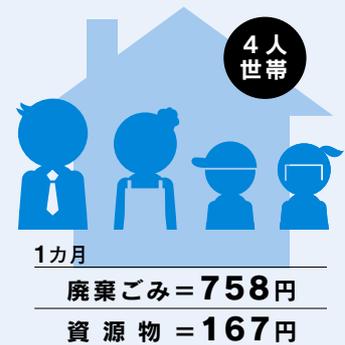
## 手数料の使い方

ごみ減量・リサイクルの促進、普及啓発・環境教育の充実、ごみステーション管理など地域の環境活動への支援などに使います。

## 料金設定について、市議会へ提案していきます

料金水準は、ごみを減量しようとする経済的な動機付けが働く金額に設定します。負担が大きくなり過ぎないことや近隣市の設定例、市民意識調査の結果なども考慮し、今後市で詳細を決め、5月に招集される定例市議会へ提案していきます。

一人1日廃棄ごみ500グラム、資源物130グラムを出す場合の負担額  
 廃棄ごみ1リットル2円、資源物1リットル1円とした場合



## その他の取り組み

### ごみの発生を抑えます

レジ袋削減や簡易包装などに取り組む事業者を認定・表彰し、ごみの発生抑制につなげます。

### 事業ごみを減量します

「事業ごみ指導員」が分別指導を徹底するとともに、「ごみGメン」が清掃工場での搬入物検査を強化します。

### 清掃事業の効率化を進めます

ごみ収集業務の民間委託の拡大などにより、経費削減を図ります。

## 市民一人一人の力を結集し、ごみを減量

札幌市長  
うえだ ふみお  
上田 文雄



私は今回、ごみ減量の効果を最大限に高めるため、家庭ごみ有料化の実施を決断しました。これにより、ごみ減量意識を高めるとともに、さらなるごみ減量に向けた新たな施策の財源を確保していきます。

ごみの減量は、市民・事業者・市が一丸となって取り組まなければ大きな効果につながりません。また、ごみの問題に取り組むことは、自分たちのまちの課題を自分たちで解決していく「市民自治」の、目に見える形での実践にもなります。将来の世代に豊かな環境を残し、「環境首都・札幌」をつくり上げていくために、力を合わせ、みんなで行動していきましょう。

## 「スリムシティさっぽろ計画」と「市民意見のまとめ」を配布中

「スリムシティさっぽろ計画」と、計画案に対するご意見をまとめた「市民意見のまとめ」を配布中です。

配付場所 市役所12階環境事業部企画課、区役所、まちづくりセンターなど

ホームページ [www.city.sapporo.jp/seiso/keikaku/pubcom/pubcom.html](http://www.city.sapporo.jp/seiso/keikaku/pubcom/pubcom.html) でもご覧になれます。